

7月7日（火）はセタです。本校では全校生徒が短冊に願い事を書き、笹に飾り付けを行いました。

朝の時間には「セタ集会」を開催しました。今回はフランス校からも小学3年生15人が参加し、中学部が進行を務めました。集会では、スライドを使ってセタにまつわる「織姫と彦星」の物語や、短冊の五色の意味、笹に飾る理由、セタに行き食を食べる風習などを分かりやすく説明しました。

校長先生のお話に続き、小学部1・3・5年、中学部1・3年、そしてフランス校の代表児童・生徒がそれぞれの願い事を、日本語とスペイン語を交えて発表しました。

続く1限目には、中学部とフランス校の子どもたちによる交流会を行いました。中学生は紙芝居とスペイン語を使って、再度セタについて説明しました。その後は一緒に折り紙で星づくりに挑戦。折り方が分からないフランス校の児童に、中学生が優しく教える微笑ましい姿が見られ、無事に全員の星が完成しました。

願い事を書いた短冊に出来上がった星を添えて、笹へと飾りました。フランス校の児童の短冊には「先生になりたい」「芸術家になりたい」といった素敵な将来の夢も書かれていました。

メキシコと日本の子どもたちが共に日本の伝統行事への理解を深める、素晴らしい国際交流の場となりました。皆さんの願い事が叶うといいですね。



セタ集会



交流の様子（折り方を説明しています）